



## メッセージの管理

---

- [10 ページの「アドレス帳の使用方法」](#)
- [11 ページの「ボイス メッセージの送信」](#)
- [13 ページの「メッセージの確認」](#)
- [14 ページの「ボイス メッセージへの返信」](#)
- [16 ページの「ボイス メッセージの転送」](#)
- [17 ページの「メッセージの削除」](#)
- [18 ページの「受信確認の管理」](#)

## アドレス帳の使用法

Cisco Unity Inbox アドレス帳には、ボイス メッセージの宛先として指定できる Cisco Unity Connection ユーザ、プライベート同報リスト、およびシステム同報リストがすべて登録されています。

Connection の設定によっては、ボイス メッセージの宛先として指定できるリモート連絡先がアドレス帳に登録されている場合もあります（リモート連絡先とは、ディレクトリに登録されていないリモート ボイス メッセージシステム上のユーザのことです）。

### アドレス帳を使用してボイス メッセージの宛先を指定するには

- 
- ステップ 1** [新しいメッセージ] ダイアログボックスにおいて、メニューバーの下にある [アドレス帳] アイコンをクリックします。
- ステップ 2** [名前検索] ダイアログボックスで適切なタブをクリックし、検索範囲を指定します。
- ステップ 3** 最低 1 つのフィールドで、メッセージの宛先として指定するユーザ、プライベート / システム同報リスト、またはリモート連絡先に関する適切な情報を入力します。

 **ヒント** フィールドにアスタリスク (\*) を入力すると、ユーザ、プライベート同報リスト、システム同報リスト、またはリモート連絡先がすべて表示されます。すばやく検索するために、\* の前に文字や値を入力して、検索範囲を絞り込むことができます。一般的な名前を検索する場合は、必ず複数のフィールドに情報を入力します。

---

- ステップ 4** [検索] をクリックします。
- ステップ 5** 検索結果のリストで、メッセージの宛先に指定する受信者をクリックしてから、[宛先]、[Cc]、または [Bcc] をクリックします（スピーカのアイコンをクリックすることによって、ユーザまたはリストの名前の録音が聞けます）。

または、

探している受信者が表示されない場合は、別の検索条件を入力してから、[検索] をクリックして再度検索します。

 **ヒント** 検索結果が予想よりも多いときは、できる限り結果が多く表示されるように [1 ページあたりの行数] リストの値を増やします。検索を狭めるには、より完全な検索条件を入力するか、または空白のままであったフィールドに適切な情報を入力します（あるいはこの両方を行います）。その後、[検索] をクリックして再検索します。

---

- ステップ 6** [閉じる] をクリックします。
-

## ボイスメッセージの送信

ボイスメッセージは、Cisco Unity Connection ユーザ、電子メール アドレス、プライベート同報リスト、およびシステム同報リストに対して送信できます。

メッセージの宛先に Connection ユーザを指定するには、ユーザの名前またはプライマリ内線番号を入力します（メッセージの宛先にユーザを指定するとき、代行内線番号は使用できません）。電子メールアドレスに対するメッセージは、サウンド（WAV）ファイルとして、電子メールメッセージに添付して送信されます。

次の特別な送信オプションが利用できます。

緊急にする	このメッセージは、通常のメッセージの前に送信されます。
プライベートにする	受信者にメッセージを機密扱いするように警告します。Connection ユーザは、プライベートメッセージを電話または Cisco Unity Inbox を使用して転送できません。
「メッセージ開封」確認を要求する	受信者がメッセージを開いたときに、発信者に通知が送信されます。 (Cisco Unity Inbox で受信確認を要求できる場合でも、すべてのタイプの受信確認を受け取れるとは限りません。Connection の管理者に、Connection がユーザに対して受信確認を送信するように設定されているかどうかを問い合せてください。)

送信したメッセージのコピーは Connection によって保存されないことに注意してください。



### ヒント

メールボックスのサイズが割り当て分を超えると、メッセージを送信できない場合があります（“[メールボックスのサイズの管理](#)”の章を参照してください）。

### ボイスメッセージを送信するには

**ステップ 1** Cisco Unity Inbox Web ツールで、メニューバーの下にある [新しいメッセージ] アイコンをクリックします。

**ステップ 2** 次のどちらかの方法で、メッセージの宛先を指定します。

- [宛先]、[Cc]、および [Bcc] フィールドに、ユーザ名（またはプライマリ内線番号）または電子メールアドレス、あるいはその両方を入力します。

複数の名前、内線番号、およびアドレスは、セミコロン (;) で区切ります。電子メールアドレスの場合、受信者の完全な電子メール アドレスを入力します（たとえば、<名前>@<ドメイン>.com）。

- [宛先]、[Cc]、または [Bcc] をクリックして、アドレス帳から受信者を選択します（10 ページの「[アドレス帳の使用方法](#)」も参照してください）。

**ステップ 3** 必要に応じて、メニューバーの下にある [名前確認] アイコンをクリックして受信者を検索し、名前と内線番号の矛盾を解決します (名前が解決されると、その名前が [宛先]、[Cc]、または [Bcc] フィールドの上にリンクとして表示されます)。



---

**ヒント** リンクをクリックして不要な受信者を削除します。

---

**ステップ 4** [件名] フィールドにメッセージの件名を入力します。

**ステップ 5** 必要に応じて、最低 1 つの特別送信オプションを選択します。

**ステップ 6** Media Master で、[録音] をクリックしてメッセージを録音します。

**ステップ 7** 録音の終了後、[停止] をクリックします。

送信する前にメッセージを確認するには、Media Master の [再生] をクリックします。メッセージを再録音するには、[録音] をクリックします。

**ステップ 8** [送信] をクリックします。

---

## メッセージの確認

Cisco Unity Inbox Web ツールで新規メッセージを確認するには、[メッセージ リストの更新] アイコンを定期的にクリックします。新しいメッセージを聞いた後または開いた後に再び更新すると、新しいメッセージのアイコンが消えていることが確認できます。

メッセージの [送信元] フィールドには、Cisco Unity Connection ユーザの名前または「Unity Connection」という文字列が含まれます。「Unity Connection」からのメッセージは、発信者が Connection ユーザでないか、またはメッセージを残したときに Connection ユーザとしてログオンしていなかったことを意味します（このような発信者からのメッセージには返信できません）。

発信者の電話番号がわかる場合は、[件名] フィールドに番号が表示されます。

### メッセージを確認するには

**ステップ 1** Cisco Unity Inbox で、メッセージの横にあるスピーカのアイコンをクリックして、再生します（再生を停止するには、もう一度このアイコンをクリックします）。

または、

送信者名をクリックして新しいウィンドウでメッセージを開き、Media Master の [再生] をクリックします。



**(注)** Cisco Unity Inbox では、送信者がメッセージ内に含めた添付ファイル（ドキュメント、スプレッドシート、テキスト、ファックスなど）およびテキストを表示できません。添付ファイルやテキストを表示するには、適切なアプリケーションを使用する必要があります。

**ステップ 2** ボイス メッセージを管理するには、次のアイコンとメッセージ メニュー オプションを使用します。

前のメッセージ	前のメッセージを開きます。
次のメッセージ	次のメッセージを開きます。
返信 (NDR に返信する場合は元のメッセージを再送信)	送信者にボイス メッセージで返信します（他の Connection ユーザからのメッセージに対してのみ使用可能）。
全員に返信	メッセージを受信したすべての Connection ユーザにボイス メッセージで返信します。
転送	別の Connection ユーザまたは同報リスト（あるいはその両方）にメッセージを送信します（プライベートのマークが付いているメッセージは転送できないことに注意してください）。
削除	メッセージを削除します。   <b>ヒント</b> メッセージを削除する前にアーカイブするには、WAV ファイルとしてハード ディスクに保存します。メッセージを開いた状態で、Media Master の [オプション] メニューから [名前を付けて保存] オプションを選択します
保存	メッセージと、すべての変更（メッセージに新規のマークを付けた、件名を変更したなど）を保存し、Cisco Unity Inbox に戻ります。

未開封マークを付ける (ファックスおよびNDRの 場合は未読マークを付ける)	メッセージを新規メッセージとして保存する場合は、このチェックボックスをオンにします。(この結果、電話のメッセージ ウェイティング インジケータが点灯する場合があります)。
閉じる	変更を保存せずにメッセージを閉じ、Cisco Unity Inbox に戻ります。

## ボイス メッセージへの返信

他の Cisco Unity Connection ユーザからのボイス メッセージに返信できます。送信者だけに返信することも、ユーザ、電子メールアドレス、プライベート/システム同報リストなど、受信者を追加することもできます。元のメッセージを再送信することによって、不達確認 (NDR) メッセージに返信することもできます。

「Unity Connection」からのメッセージは、発信者が Connection ユーザでないか、またはメッセージを残したときに Connection ユーザとしてログオンしていなかったことを意味します。このような発信者からのメッセージには返信できません。

次の特別な送信オプションが利用できます。

緊急にする	このメッセージは、通常のメッセージの前に送信されます。
プライベートにする	受信者にメッセージを機密扱いするように警告します。Connection ユーザは、プライベート メッセージを電話または Cisco Unity Inbox を使用して転送できません。
「メッセージ開封」 確認を 要求する	受信者がメッセージを開いたときに、発信者に通知が送信されます。  (Cisco Unity Inbox で受信確認を要求できる場合でも、すべてのタイプの受信確認を受け取れるとは限りません。Connection の管理者に、システムがユーザに対して受信確認を送信するように設定されているかどうかを問い合せてください。)

送信した返信のコピーは Connection によって保存されないことに注意してください。

### ボイス メッセージに返信するには

**ステップ 1** Cisco Unity Inbox で、送信者名をクリックします。

**ステップ 2** 開いたメッセージで、必要に応じて [返信]、[全員に返信]、[再送信] をクリックします。

**ステップ 3** 次のどちらかの方法で、メッセージの宛先にその他の受信者を指定します。

- [宛先]、[Cc]、および [Bcc] フィールドに、ユーザ名 (またはプライマリ内線番号) または電子メールアドレス、あるいはその両方を入力します。  
複数の名前、内線番号、およびアドレスは、セミコロン (;) で区切ります。電子メールアドレスの場合、受信者の完全な電子メールアドレスを入力します (たとえば、<名前>@<ドメイン>.com)。
- [宛先]、[Cc]、または [Bcc] をクリックして、アドレス帳から受信者を選択します (10 ページの「アドレス帳の使用法」も参照してください)。

- ステップ 4** 必要に応じて、メニューバーの下にある [名前確認] アイコンをクリックして受信者を検索し、名前と内線番号の矛盾を解決します (名前が解決されると、その名前が [宛先]、[Cc]、または [Bcc] フィールドの上にリンクとして表示されます)。



---

**ヒント** リンクをクリックして不要な受信者を削除します。

---

- ステップ 5** 必要に応じて、[件名] フィールドを編集します。

- ステップ 6** 必要に応じて、最低 1 つの特別送信オプションを選択します。

- ステップ 7** Media Master で、[録音] をクリックしてメッセージを録音します。

- ステップ 8** 録音の終了後、[停止] をクリックします。

送信する前にメッセージを確認するには、Media Master の [再生] をクリックします。メッセージを再録音するには、[録音] をクリックします。

- ステップ 9** [送信] をクリックします。
-

## ボイスメッセージの転送

ボイスメッセージは、Cisco Unity Connection ユーザ、電子メールアドレス、プライベート同報リスト、およびシステム同報リストに対して転送できます。ユーザまたは別の Connection ユーザによってプライベートのマークが付けられたメッセージを Cisco Unity Inbox Web ツールから転送することはできません。

ボイスメッセージをそのまま転送するか、または転送メッセージの前に再生される音声コメントを録音することができます。次の特別な送信オプションが利用できます。

緊急にする	このメッセージは、通常のメッセージの前に送信されます。
プライベートにする	受信者にメッセージを機密扱いするように警告します。Connection ユーザは、プライベートメッセージを電話または Cisco Unity Inbox を使用して転送できません。
「メッセージ開封」確認を要求する	<p>受信者がメッセージを開いたときに、発信者に通知が送信されます。</p> <p> (注) Cisco Unity Inbox で受信確認を要求できる場合でも、すべてのタイプの受信確認を受け取れるとは限りません。Connection の管理者に、システムがユーザに対して受信確認を送信するように設定されているかどうかを問い合せてください。</p>

転送したメッセージのコピーは Connection によって保存されないことに注意してください。

### ボイスメッセージを転送するには

**ステップ 1** Cisco Unity Inbox で、送信者名をクリックします。

**ステップ 2** 開いたメッセージで、[転送] をクリックします。

**ステップ 3** 次のどちらかの方法で、メッセージの宛先を指定します。

- [宛先]、[Cc]、および [Bcc] フィールドに、ユーザ名（またはプライマリ内線番号）または電子メールアドレス、あるいはその両方を入力します。  
複数の名前、内線番号、およびアドレスは、セミコロン (;) で区切ります。電子メールアドレスの場合、受信者の完全な電子メール アドレスを入力します（たとえば、<名前>@<ドメイン>.com）。
- [宛先]、[Cc]、または [Bcc] をクリックして、アドレス帳から受信者を選択します（10 ページの「アドレス帳の使用方法」も参照してください）。

**ステップ 4** 必要に応じて、メニューバーの下にある [名前確認] アイコンをクリックして受信者を検索し、名前と内線番号の矛盾を解決します（名前が解決されると、その名前が [宛先]、[Cc]、または [Bcc] フィールドの上にリンクとして表示されます）。



**ヒント** リンクをクリックして不要な受信者を削除できます。

**ステップ 5** 必要に応じて、最低 1 つの特別送信オプションを選択します。

**ステップ 6** Media Master で、[録音] をクリックして音声コメントを録音します（必要な場合）。

**ステップ 7** 録音の終了後、[停止] をクリックします。

メッセージを転送する前に音声コメントを確認するには、Media Master の [再生] をクリックします。メッセージを再録音するには、[録音] をクリックします。

**ステップ 8** [送信] をクリックします。

---

## メッセージの削除

メッセージまたはメッセージのグループを Cisco Unity Inbox Web ツールから直接削除できます。また、開いた後でメッセージを削除することもできます。

### メッセージを削除するには

---

**ステップ 1** Cisco Unity Inbox で、削除するメッセージの左側にあるチェックボックスをオンにします。一度に複数のメッセージを削除するには、複数のチェックボックスをオンにします。

または、

メニュー バーの下にある [すべての行選択] アイコンをクリックして、ページ上のすべてのメッセージに削除のマークを付けます。

**ステップ 2** メニュー バーの下にある [選択した行削除] アイコンをクリックします。

**ステップ 3** プロンプトに対して、[OK] をクリックします。

また、メッセージの削除は、メッセージを開いてから [削除] をクリックし、[OK] をクリックすることによっても可能です。

---

## 受信確認の管理

Cisco Unity Connection を使用する際、表 3 に示されているように、いくつかの異なるタイプの受信確認を管理できます。どの受信確認を使用するよう設定されているかは、Connection 管理者に問い合わせてください。

表 3 Cisco Unity Connection 受信確認

タイプ	説明
返信	電話でメッセージを送信するときに要求する受信確認。
開封	受信者がメッセージを開封または再生すると、通知される受信確認メッセージ。
不達 (NDR)	メッセージを目的の受信者に配信できなかった場合に、通知される受信確認メッセージ。

Cisco Unity Inbox Web ツールでは、Connection によって受信確認とボイスメッセージが一緒に表示されます。Cisco Unity Inbox で受信確認を開く方法は、ボイスメッセージの場合と同じです。受信確認は保存と削除のみ可能です。返信と転送はできません。

受信確認では、送信されたメッセージを受信した受信者や、メッセージを再生した受信者を表示できます。NDR では、Cisco Unity Inbox によって、メールボックスでメッセージを受け入れなかった受信者が示されます。

NDR を表示する際、Media Master を使用して元のメッセージを再生したり、それを受信しなかった受信者に再送したりすることができます。音声コメントの録音、受信者リストの修正、メッセージ再送時の配信オプションの変更を実行できます。電話でメッセージを再送した場合と違い、メッセージを再送しても NDR は自動的に削除されません。ユーザが削除するまで、NDR は Cisco Unity Inbox に残ります。

### 受信確認を管理するには

**ステップ 1** Cisco Unity Inbox で、送信者名をクリックして受信確認を開きます。

**ステップ 2** 受信確認を管理するには、次のアイコンとメッセージメニュー オプションを使用します。

前のメッセージ	前のメッセージを開きます。
次のメッセージ	次のメッセージを開きます。
元のメッセージの再送 (NDR のみ)	元のメッセージを受信できなかった受信者に再送します。音声コメントの録音、受信者リストの修正、配信オプションの変更を実行できます。
削除	受信確認を削除します。
保存	受信確認と、すべての変更 (メッセージに新規のマークを付けた、件名を変更したなど) を保存し、Cisco Unity Inbox に戻ります。
未開封マークを付ける	メッセージを新規メッセージとして保存する場合は、このチェックボックスをオンにします。
閉じる	変更を保存せずにメッセージを閉じ、Cisco Unity Inbox に戻ります。受信確認に開封のマークが付けられます。